



福井県 永平寺町

議会だより

第58号

令和2年5月1日発行



新型コロナウイルス対策!

児童は明るく伸び伸びと、大人は児童のために創意工夫



わんぱる団体

町内児童クラブ

(※ 最終ページに紹介記事)



※これらの写真は3月16日に撮影されたものです。現在、町内児童クラブでは、新型コロナウイルス感染防止に適切な対応をしています。

松岡小学校区

2 幼児園・幼稚園施設再編案

9 ~ 17 そここが聞きたい! 議員13人が一般質問

お知らせ

例年4月に開催しています「議会と語ろう会」は、県内での新型コロナウイルス感染者が日々発生している状況に鑑み、今回は延期させていただきます。

永平寺町議会 facebook



永平寺町議会

検索

松岡小学校区 幼稚園・幼稚園施設再編案

※令和2年3月27日・4月10日 全員協議会へ提出された計画案より

■決定確認事項

1. 松岡幼稚園・松岡東幼稚園・松岡西幼稚園・なかよし幼稚園の4園を3園に再編。
2. 3園のうち1園を松岡木ノ下地係の町有地に新設する。

■検討事項

1. 松岡幼稚園と松岡西幼稚園を統合し、民営化による施設建設、運営を目指す。
施設の建設地は松岡木ノ下地係の町有地とし、開園は令和5年4月1日を目指す。
2. なかよし幼稚園は現状維持で今後も運営する。
3. 松岡東幼稚園は現状維持で今後も運営するが、令和7年度以降は入園児数の推移により他園と統合を検討する。松岡地区は0歳児保育のニーズが多いため、松岡東幼稚園の未満児保育室を改修し、0歳児保育を受入可能とする。
4. 松岡幼稚園は令和5年3月31日をもって閉園とし、園舎はその後解体。
5. 松岡西幼稚園は令和5年度は現状維持で運営し、在園児の新設園へ移動等の配慮を行い令和6年3月31日をもって閉園とする。園舎はその後解体。

幼稚園・幼稚園 竣工・経過年数	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
松岡幼稚園 S51竣工 44年経過	→		閉園	→						
松岡西幼稚園 S55竣工 40年経過	→		新設(令和5年4月1日開園)		→					
松岡東幼稚園 S53竣工 42年経過	→		0歳児保育	入園児の推移により他園と統合(令和7年度以降)						
なかよし幼稚園 H5竣工 27年経過	現状維持									

※園の定員:新設園150人規模 なかよし幼稚園120人 松岡東幼稚園60人(R2.4.10現在)

町の課題

松岡東幼稚園 について

- ・保護者送迎用駐車場の確保にむけて協議中。
- ・入園児数によっては3歳児以上で異年齢混合保育になることもある。
- ・施設長寿命化計画での今後20年で概算3,521万円。

■議会審議における指摘事項

1. 新設園の定員が150人は規模が大きすぎるため、保育の質や安全確保の面で危険。
規模は100人から120人とすべきでは。
2. 松岡小学校区内で3園に再編としているが、令和7年度以降は2園になる可能性があり、3園維持が確約できないのでは。
3. 幼稚園・幼稚園を再編するにあたり、最初から異年齢混合保育ありきの再編はおかしいのでは。
4. 幼稚園・幼稚園の民営化については、十分な協議が必要では。

注) 今後の協議内容や新型コロナウイルス感染の影響により、再編内容やスケジュールは変更となることがあります。

令和2年 第1回定例会報告

議長 江守 勲

令和2年第1回永平寺町議会定例会は、2月25日（火）から3月13日（金）まで18日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、人権擁護委員候補者には、永平寺町京善 山口 利明氏の推薦を適任とし、永平寺町教育委員会委員には、永平寺町松岡神明 根来 航平氏の任命に同意しました。

第1回定例会議案

承認第1号 令和元年度一般会計補正予算の専決処分について	承認	議案第13号 令和2年度土地開発事業特別会計予算について	可決
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	議案第14号 令和2年度上水道事業会計予算について	可決
議案第1号 令和元年度一般会計補正予算について	可決	議案第15号 防犯隊設置条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第2号 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第16号 長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の全部改正について	可決
議案第3号 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第17号 税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号 令和元年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第18号 印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号 令和元年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について	可決	議案第19号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号 令和2年度一般会計予算について	可決	議案第20号 特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算について	可決	議案第21号 給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	議案第22号 指定管理者の指定について	可決
議案第9号 令和2年度介護保険特別会計予算について	可決	議案第23号 上志比支所新築工事の請負契約締結について	可決
議案第10号 令和2年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について	可決	議案第24号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第11号 令和2年度下水道事業特別会計予算について	可決	議案第25号 上志比特産加工直売施設条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第12号 令和2年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決	議案第26号 情報板施設条例を廃止する条例の制定について	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席）※議長（江守勲）は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第6号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第7号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第9号	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第17号	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等24件については全員賛成です。

令和元年度一般会計補正予算専決処分審議報告

承認

松岡幼稚園擁壁対策工事（園庭擁壁の崩壊対策）

650万円

令和元年度3月補正予算審議報告

一般会計3月補正予算
総額 **9,210**万円

【主な項目】

財政調整基金積立金(前年度剰余金の1/2以上)	7,600	万円
町立在宅訪問診療所特別会計繰出金	3,150	万円
心身障がい者福祉費(利用者減)	▲1,988	万円
土木費(浄法寺橋修繕工事費)	2,862	万円
農業振興費(水田農業構造改革補助金・多面的機能支払交付金・農地集積協力金)	▲1,477	万円

国民健康保険事業
特別会計補正予算
総額 **2,027**万円

【主な項目】

財政調整基金積立金 **2,000**万円

後期高齢者医療
特別会計補正予算
総額 **391**万円

【主な項目】

後期高齢者医療広域連合納付金 **391**万円

介護保険
特別会計補正予算
総額 **1億5,537**万円

【主な項目】

居宅介護サービス給付費 **6,300**万円

町立在宅訪問診療所
特別会計補正予算
総額 **0**万円

診療報酬収入赤字を一般会計
繰入金で補てんし総額変動なし

令和2年度当初予算審議報告

議案第6号「令和2年度一般会計予算」から議案第14号「同上水道事業会計予算」の9件について、慎重に審議を行い原案通り可決しました。

令和2年度
当初予算
総額 **136億5,194**万円
▲0.1% (前年度予算対比)

一般会計	83億4,023 万円	▲1.5%	特別会計	48億2,693 万円	2.6%	企業会計	4億8,477 万円	▲1.2%
------	--------------------	-------	------	--------------------	------	------	-------------------	-------

【主な項目】

山王地区宅地造成事業	2,967	万円
子ども医療費助成事業(中学3年生→高校3年生まで拡充)	5,642	万円
社会資本整備総合交付金事業(永平寺インター線用地購入、橋梁定期点検等)	9,450	万円
一般道路改良事業(町道浄法寺バイパス連絡線改良、山・荒谷線法面改良)	1億3,081	万円
給水車購入(災害発生時の飲料水供給、避難所への直接給水)	1,831	万円
学校施設整備費(7小学校防水外壁改修塗装、グラウンド・プール改修等)	7,631	万円

主な質疑応答

令和2年度 当初予算審議 第2審議

◆総務課

問 えち鉄支援補助金がここ数年徐々に上がって4000万円を越えてきたが、町内11駅中、5駅が最低乗降数を示している。高校生以上の減少もあるが、原因を深く探り、ここは新たな一手を打ってほしい。

答 サポーターズクラブの高齢者向け特典の周知を図る。新幹線開通に向けては、キャッシュレスに近い料金体系に取り組み。えち鉄自体の乗客数はそんなに減っていないが、パーク&ライドも十分検討していく。

◆総合政策課

問 3年目IoT推進事業、地元企業活用策は。

答 昨年県情報化支援協会と4社連携協定、町内企業IoT導入相談。また東大先端研西岡先生との相談のもとセミナー開催。参加者IoT導入242名・キャッシュレスセミナー72名、農業セミナー1100名等、計12回1079名。今後は四季の森をさらに交流拠点としてサテライトオフィスなど、これまで培ったつながりから誘致したい。

◆商工観光課

問 ブランド戦略推進事業は7年目を迎えるが、SHOJIN認定品の販路拡大にどう取

り組むのか。

答 SHOJIN認定品のギフトカタログ・パンフレットの制作、新規のギフトボックスの開発に取り組み。どのような商品を開発するか引き続きSHOJIN協議会、またブランド推進委員会の中で検討する。

イベントへの出展はもとより、アンテナショップ、展示会、商談会などの出展により販路拡大につなげる。

問 地域づくり応援事業補助金については、事前に補助要綱を作成し目的を明確にするべき。

答 人口減少が進む中、本補助事業によって住民の相互扶助による自発的な地域づくりを支援することで地域の問題解決や連携・共同の取り組みを創出しやすくすることを目的としている。

補助要綱については現時点で要綱案であるため、公平性を保ち、審査の厳正化、透明化を行っていく。

◆学校教育課

問 学校のあり方検討委員会への諮問の内容と検討委員会の進め方は。

答 望ましい教育環境の在り方では、標準学級数の適用か弾力的な運用かを議論。地域と連携しての学校づくりでは、地域とのかかわりが重要。教育的な視点での望ましい連携の在り方を検討。

住民の声、各関係者の声を聴き、進め方を議会に示す。

令和2年度一般会計予算、特別会計および上水道事業会計に係る提言

- ① えちぜん鉄道利用促進事業は、利用したくなるような施策と利用しやすい施策を行うこと。
- ② 町職員の女性幹部の登用への環境づくりと受入体制を確立すること。
- ③ 空き家対策は、各課連携し、有効に着実に実行すること。
- ④ IoT推進事業は、令和2年度を区切りの年として、目的達成に努めるとともに、今後の方向性を見極めること。
- ⑤ ブランド戦略と、永平寺町観光物産協会の担う事業内容を精査し取り組むこと。
- ⑥ 各種補助金は、要綱を必ず整備し、執行すること。
- ⑦ 永平寺インター線整備事業は、インター線周辺をどのように開発・整備するか明確にし、進めること。
- ⑧ 地域づくり応援事業は、交付要綱に定められた補助対象、補助額、回数、審査会などを見直し、示すこと。
- ⑨ 上水道事業は、有収率の向上に向けて、更に積極的に取り組むこと。

以上の9点を提言した。



議案への賛否討論

議案第6号

一般会計予算について

反対討論 金元 直栄

反対の第1の理由は、幼児園の統廃合と民営化への方針と、その進め方でアンケートからも、住民の思いとはあまりにもかけ離れていて、周辺地域にあつては、これが「地域じまい」になりかねないことから、今後のまちづくりの大きな争点ともなる。第2は、町づくりで、相次ぐスーパーの撤退から、今後の町づくりの方向が見えていないこと。第3は、地域づくりの方向性についても、相変わらず地域を支える恒常的な組織づくりの方向は、今だに見えてこない等から反対する。

賛成討論 酒井 秀和

幼稚園・幼児園再編計画については、今後生産年齢人口が減少し、超高齢化社会を迎えてからでは間に合わない。また、この件については町長の所信表明に「永平寺町の子どもの将来のために、環境整備と安全・安心を確保すべく、計画策定に取り組みたい」という言葉を尊重し、賛成する。

反対討論 上田 誠

住民生活の基の医療福祉教育イ

ンフラ等の必要予算は認める。しかし、①日常生活を守り、人口減の歯止め②幼保学校の再編は地域の衰退や、小規模の良さを、まちづくりの方向性③観光振興、交流人口増の補助事業の検証方向性④社会資本整備、施設の指定管理のあり方等々、今後の人口減や共生社会対応するには不十分と考え反対とする。

賛成討論 川崎 直文

「第2次永平寺町総合振興計画」等の諸計画を捉えて審議した。

空き家対策では空き家等解体及び撤去事業補助金、利活用の空き家対策支援事業等の3事業、地域づくり関連では継続の包括的支援事業、新規の地域づくり応援事業補助金が計上されている。これらの事業を含む予算は妥当である。予算に関係する各課が連携し執行すべきことを申し添えて賛成する。

議案第7号

国民健康保険事業 特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

昨本年町の国保税は県下1位と高額になった。医療費を下げるた

めの検診の強化支援は評価するが、消費税も含め、住民の負担は限界にきている。消費税の導入、引き上げは福祉のためだったはずだ。自治体にもこの金が入ってきていることから、一般会計からの繰入で税の引き下げをすべきだが、これが見られないことから反対する。

賛成討論 長岡千恵子

これまでの会計の推移を見てみるとひとり当たりの医療費が年々増加している。保険税は県下でトップの水準であるが、一般会計からの法定外繰り入れを行えば一般会計に負担がかかり、どこかで歪が出てくることを懸念する。何より国民健康保険会計が安定して推移していくことが肝要。よって賛成とする。

議案第9号

介護保険特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

「全世代型社会保障改革」では基本、利用負担増で給付費の削減を狙っている。介護保険が低所得者に利用しにくい制度になりつつある中で、国からの押し付けとは言え、地域での見守りへ恒常的組織づくりは急務、なのに全庁での

取り組み、具体的な踏み出しが見られないことから反対する。

賛成討論 長岡千恵子

介護保険サービスの全てを自身で行うには大変な労力は必要。介護者一人では無理。

独居老人や老々世帯の増加により介護サービス量の増加は必然的。地域で助け合いをというが、お願いすることもお手伝いすることにも、判断が難しい。

益々、高齢化が進む中で、その対応は社会福祉協議会と担当課だけの課題ではなく、全庁挙げて取り組む体制が不可欠ということを申し添えて賛成とする。

議案第17号

税条例等の二部を改正する 条例の制定について

反対討論 金元 直栄

税等の督促手数料を一通あたり、50円を100円に引き上げるといいますが、①郵便料金の額と一致しない徴収には合理的理由はない。②町民税など99%もの徴収率になっていること。③督促そのものが行政の徴収根拠維持のためにという点から見ても、罪金としての値上げには反対だ。

議会災害対策体制の強化

総務産業建設常任委員会 委員長 中村勘太郎

3月10日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

■商工会との意見交換会のもと
めと今後の展開について

ブランド戦略推進事業については、商工会・観光物産協会・生産者等への負担金が7年間継続されている事業であり、議会としても何らかの方法で、各関係者（個人・団体）へ意見・提言など、三位一体で取り組み等を充実することで議了。

■議会防災訓練（安否確認）実施結果および今後の対応について

議会と防災対応（議員の防災マニュアル）における、前回1月19日の安否確認訓練の結果について意見交換。今後、安否確認のメール返信訓練等を充実させ、実災害時における対応を図ることで議了。

■その他

（1）令和2年度 委員会共同年間テーマについて

①議会と防災対応の充実強化

議会防災対応BCPのさらなる充実強化の推進はもとより、現在拡大進行形の新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない現状での課題を含み、町議会は経済対応等に対する全体的な対象を踏まえる目的とすることで議了。

②地元経済の活性化

これまでの視察や意見交換を踏まえ、県市町ブランド促進事業の強化と併せた本町の行政をはじめ、商工会・観光物産協会・生産者等各団体の目的を検証することで議了。

（2）令和2年度 委員会事務事業評価検証事業の抽出について

①空き家対策関連事業 ②IoT推進事業 ③社会資本総合整備事業 ④都市計画 ⑤広域的事業：これらの事業取り組みの検証を一年間通じて検証することで議了。

福祉・教育・子育ての現状確認

教育民生常任委員会 委員長 上田 誠

3月10日全員出席で開催し、次の内容を協議した。

■令和元年度 所管事務の状況把握・今後の方向性について

①国民健康保険事業特別会計

・加入者状況は、3213人で率は17・3%減少。

・医療費総額減少し、13億6千万円、40万円/人と増加。

・H29年に税額を改定し、県下一番となり基金2千万円。

②介護保険特別会計

・要介護認定者増加し約1000人、5年後1400人の見込み。来年度から第8期計画。

・今後は働き世代、あきらめ世代への健康づくりを推進し、健康寿命の延長を図る。

③子育て支援

・経済的支援として医療費助成、各種の支援事業。
・心情的支援として相談事業や、ケース会議の充実を図る。

④先生の働き方改革

・部活動改善として時間短縮、休

養日、外部指導者。

・学校業務改善として出退勤管理表、閉校、留守番電話設置等で対応。

⑤学校教育

・いじめ、不登校対応は研修後、情報共有で早期発見や支援体制の強化。

・SNS対応は、研修、講演、生徒会のルール設定等々。保護者、家庭の認識向上と協力を図る。

⑥給食調理員

・各校正職1名以上の配置と非常勤で対応しているが、人材不足の状況。今後は統合や外部委託も視野に。

⑦その他

・コロナウイルス対策の休校・学童保育で対応、今後の再開時期や補償の対応を検討中。

■請願について

3月議会で継続審議とし、6月議会で審査する。

視察レポート

「SHOJIN」ブランドの情報発信について

令和2年1月10日(金)～11日(土) 青山291・東京ドーム

青山291で販売されている町産品（ごまどうふ、コーヒー、日本酒等）コーナ・ブース、店内の掲示物に「SHOJIN」ブランドの表示はなかった。

東京ドーム会場の「ふるさと祭り東京」では、町商工会ブース等で「るるぶ特別編集 禅のまち 永平寺町」を配って「SHOJIN」ブランドの情報発信が行われていた。



平和について

令和2年1月22日(水) 広島県広島市

第9代広島平和記念資料館館長で、原子爆弾被爆体験のある原田浩さんの平和についての講話で、世界で唯一の被爆国である日本から平和の大切さを発信することの重要性を語る。被爆者が年々減少していく中で、平和の大切さや核兵器の恐怖について後世に伝えることの必要性を聞いた。



日本一の子育て村構想について

令和2年1月23日(木) 島根県邑南町

町が『シングルマザー集まれ』として子育て支援施策の充実を行い、人口の社会動態がH25年以降3年連続で30歳代女性と4歳以下の児童人口が増加している。

子育て支援の目玉施策…中学校卒業まで医療費無料・保育料第2子以降完全無料・身近に安心な医療体制・病児保育町内2箇所・学校図書室充実（図書館司書11名の配置）・県立矢上高校（町内高校）支援（町職員2名・外部職員1名配置）・教育費用支援（奨学金制度）

公共施設マネジメントについて

令和2年1月23日(木) 島根県邑南町

人口減少に歯止めをかける。定住人口の増加。特に移住者ケア構想で213人を確保。地域住民の意識改革と自立。

公共施設マネジメントの3本柱

1. 住民が主役…まちづくり条例の制定
2. 環境づくり…自治会ごとに町職員の配置（39自治会）
公民館の配置（職員3名体制）
3. 財政確保

対策として①全体のボリュームを減らす。②サービスを落とさずにインフラの負担を引き下げる。③地域住民は自治体にとって「お客様」ではない行政と一緒に地方自治を担っていく大切なパートナー。



一般廃棄物ごみ排出量削減と資源ゴミ分別リサイクル徹底について

令和2年1月23日(木) 滋賀県 (株)水口テクノス・東洋カレット(株)
1月24日(金) 京都市 ごみ減量推進課

水口テクノスは甲賀市の一般廃棄物収集運搬・中間処理業務を担い、資源ごみの常設無料持込ECOステを開設し、住民と協働する生ごみ循環エコロジーシステムを運営し、高熟成堆肥の還元や堆肥利用の農園経営等地域と共生を図っている。

東洋カレットはガラスを破砕し、異物・不純物・着色ガラスを分別し、純度の高い同質硝子屑をつくり、ガラス製造会社へ原料として納入する。H9年容器リサイクル法が施行され、H17年のカレット利用率は91.5%に達した。福井坂井広域市町村圏からも搬入するが、分別レベルは金属類・陶磁器・異色硝子の混入が多く評価はC評価、京都市の分別レベルが一番高い。

京都市ごみ減量推進課は、ピーク時、H12年のゴミ量年82万トンをもH26年46万トンへと44%削減し、清掃工場を5工場から3工場へ縮減、年106億円のコスト削減。更に半減の39万トンを目指し、H27年より「廃棄物減量及び適正処理等に関する条例」の市民・事業者等の分別を「協力」から「義務」へと改正した「しまつのこころ条例」をスタートする。また、食品ロス削減に向け、使い切り、食べきり、水切りの「3キリ」運動や、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）の2R、分別リサイクルの徹底を図る。本町でも実施検討に値する取り組み。



3月
定例会
一般質問

問&答 そこが聞きたい!

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

中村勘太郎 … 9 P	松川 正樹 … 14P
朝井征一郎 … 10P	酒井 和美 … 14P
酒井 秀和 … 10P	伊藤 博夫 … 15P
長岡千恵子 … 11P	上田 誠 … 16P
齋藤 則男 … 12P	金元 直栄 … 16P
川崎 直文 … 12P	滝波登喜男 … 17P
奥野 正司 … 13P	

問 自動走行は、今後どのように展開するのか



中村勘太郎 議員

答 実用化を目指す

問 実用化に向け、法的な整備について、現段階どのような課題があるのか。

総合政策課参事 昨年5月に改正道路交通法が国会において可決され、緊急時以外は自動走行システムが公道において可能になるなど、自動走行に関するルールづくりが進んでいる。車内無人での走行について必要な車両の保安基準を整備している。実用化に向け地域住民や観光客が安全・安心に利用できる必要な対策を講じる。

問 自動走行の遠隔運行実験で、実用化にあたって、地域住民・観

光客の移動中における行政の課題は。

総合政策課参事 利用者を増やす取り組みや運行にかかるコストの削減、また、乗車料金の決済方法が課題。これらに向け、遠隔ドライバーによる複数の自動走行車両の運行や旅行業者との連携した観光モニターツアーの実施等を国やまちづくり会社などと連携し実用化を目指す。

問 荒谷から遠隔運転にて参拝者を導くプラ



自動走行車両

ン、一般参拝者の駐車場の確保は。

総合政策課参事 マイカーで本山を訪れ観光客に利用してもらったため、新たに停留所横にある民間駐車場を無料で借りているが、観光バスの団体客対応については、町営第3駐車場付近に臨時に停留所の整備を進める。

総合政策課参事 禅シンポジウムにて3段階景観構想を提案され、関係課と連携し検討する。

問 廃棄物処理・生ゴミ環境・減量再生処理

答 段ボールコンポストの普及



朝井 征一郎 議員

問 ごみの減量・リサイクルの取り組みは、行政・住民・企業が一体となって、町の環境を守る生ゴミ環境エコシステムがなされている。生ゴミ専用回収容器を設置して、その中に家庭の生ゴミを入れ、家庭の生ゴミと堆肥を交互に、その後生ゴミ専用回収車で、週2回各地域ステーションで専用回収容器ごと回収後、リサイクルセンターで堆肥と混合し、家庭の生ゴミが堆肥として出来上がり、各家庭へ堆肥として還元している。

住民生活課長 生ごみの原料に関しては非常

に有効な取り組みだと感じている。ただ、コスト面において相当数の費用がかかる。町の取り組みとしては、生ごみ処理機の助成事業を継続していくほか、本年度、段ボールコンポストの有効性について実証実験を行い、ある程度有効であるという確信が持てたので、令和2年度において段ボールコンポストを周知して、希望する方に関して、お試しキットを提供していく。



行政・住民・企業が協働するごみ減量とリサイクル

問 永平寺町も急激な人口減少時代に直面している中、町の少子化に伴う子育て環境の変

問 職員の残業管理、進捗は

答 増減あるが減少傾向である



酒井 秀和 議員

問 令和元年度第3回定例会で残業時間縮減に向けて職員の育成・指導を進めつつ、一般行政職員の最低七名増員を提案した。

今回は第3四半期までの残業時間と残業手当の進捗および来年度計画を確認し、令和3年度の職員数の適正化（職員数247名）に向けて適切に取り組

めているか。また、現在進められている幼稚園・幼児園の再編計画においては議会視察をした

中で子供の環境改善が確認できたため、民営化運営を最低2園以上で提案し財政面の補填策も示した。

総務課長 第1四半期は1万1千時間、第2四半期は1万1千300時間、第3四半期は9千500時間、合計3万1千700時間で残業手当合計は640万円。職員数は来年度に向けて9名の増員を計画している。民営化は今後機構改革があれば適正化に努める。



役場内の仕事風景

問 将来に繋げる子育て支援とは

答 奨学金制度は先進地に学び研究



長岡千恵子議員

問 他の市町では、大
学進学時の奨学金制度
を設立し、条件によっ
て返還が免除となるも
のと返還が必要なもの
があり、事業展開をす
ることで人口の社会的
動態が転入増になって
いるという自治体を視
察した。本町でも検討
してはどうか。

学校教育課長 平成2
8年度から教育資金支
援給付金事業を実施。

問 金融機関から教育資金
の融資を受けた場合に
5万円を上限として借
入額の1%を給付して
いる。町独自の奨学金
制度を創設する予定は
ない。

問 学校教育課関係
だけでも子育て支援事
業が多々あるが、高校
から大学へ行く一番お
金のかかる時期の支援
が手薄と感じる。若い
人に、永平寺町に戻つ

化に対応した支援、人
生百年時代を迎え、健
康づくりの推進、地方
創生、人口減少と高齢
化の進行で都会一極集
中が叫ばれているが、
限界集落の問題に関連

して地域間の格差が拡
大しているのではない
か。

子育て支援課長 子育
て支援については、環
境変化に応じて政策の
対応策をし、保護者の

経済的ニーズに合わせ
て対応している。利用
料の一部を助成するな
ど、子どもたちが安全
で安心して生活できる
環境づくりを推進して
いる。

【その他の質問】
問 町内観光資源の
導線構築を。
答 随時更新してい
る。

意見 今回、令和元
年度第2回定例会で
商工観光課長の「特
産品の掲載はブラン

ド協議会等と話し合い
を進め更新する」「イ
ンバウンド観光含め修
正していく」「観光物
産協会とより良いホー
ムページを作る」とい
う答弁に対して進捗確
認をしたが、その意図
が伝わらず適切な答

えを引き出せなかつ
た。
問 ふくい嶺北連携
中枢都市構想の進捗
は。
答 懇談会を踏まえ
て今後説明する。



て頑張ろうという意識
を持つてもらったため
奨学金と考えていただ
き、再度の検討を。

町長 運用や条件、メ
リットとデメリットな
ど先進地に学び研究し
たい。

ない保育士を配置し、
日々の気がかりな園児
のお世話をする。ある
いは老朽化した園舎の
建て替えは、園児の生
活環境が良くなる。こ
ういったことが子ども
たちに対する子育て支
援と思う。幼児園の園
舎は、子育て支援のシ
ンボルで、子育て支援
の手厚さの表れでは。

町長 松岡小学校エリ
アは現在4園を3園に
して、清流地区に1施
設新設する方向で、議
会と共有していると認
識している。

【その他の質問】
問 友好交流都市張
家港市の周知を。
答 町においては、
この日中友好協会の
皆さんが続けてきた
交流の火を消すこと
なく次につなぐ後押
しをしたい。

※ 1月に本町から張
家港市へ医療用マスク
5000枚を贈呈した
ところ、3月に100
00枚のマスクが寄贈
された。

問

狭隘な五松橋・相生橋の架け替え拡幅を

答

県道拡幅は県要望、架け替えは知事要望



奥野 正司 議員

問 通行車両の増加とトラック大型化が進み、狭隘な五松橋上や相生橋付近で、大型車同士の対面すれ違い時の接触防止減速による渋滞、民家への大型車の接触損壊事故が毎年発生。徒歩や自転車通学の生徒横断もあり人身事故も起きかねない状況。この県道は松岡中心市街地や北インターと御陵地区や坂井

市を結ぶ主要地方道で、救急車両の通行も多く早急な道路拡幅と橋の架け替えを。
建設課長 五松橋、相生橋の狭隘な橋梁幅員の拡幅要望は、県へ毎年実施。今年度は五松橋の架け替え要望も知事要望と土木事務所長要望を



五松橋南詰

行った。
実現に向け住民・議会と力を合わせたい。
町長 この件は知事要望も行っており、地元の熱い思いも伝わる。期成同盟の皆さんと一緒に取り組む。

【その他の質問】
問 地域おこし協力隊はH30年度全国実施自治体1,061、隊員数5,530人、隊員定住率62.6%。本町の良さを発信し、本町で起業の種を探す人を、腰を据えて取組む若者を育てる舞台として受け入れては。
答 協力隊員募集は目的・仕事内容を明確にし、主体性を持つて事業を進められる人材を選考する必要とする分野あり。
問 ふるさと納税は県内市町も返礼品を充実させ寄付額増加。坂井市H28年度見込9億円。福井市H28年度460万円、H31年度128万円で約3億円。本町H28年度1,166万円、今年度状況と課題は。
答 R2/2月で1000万円。課題は体験型商品開発と返礼品数増加。

は、地域の振興は計れないと思う。
上志比地区の道と温泉施設、地域振興にどのように効果があったのか。
商工観光課長 金融機

関、商工会との連携を深め取り組んでいく。
町長 上志比地区の核となつて、いろんな広がりを見せてもらえる施設となるように一緒に頑張っていきたい。

【その他の質問】
問 ごみの減量化の施策と、これからの取り組みについて。
答 看板設置・段ボールコンポストの普及に取り組む。

わがまち夢プラン育成事業の活用での支援を継続し、令和2年度において地域づくり応援事業補助金を創設する。

【その他の質問】
問 特定健診受診率の向上を。
答 近隣市町とも相談、研究し、令和3年度に向けて協会けんぽと二人三脚での健診の推進に取り組む。
商工会、シルバー人材センター等団体に国保通信という形でいろいろな情報を提供し受診を勧奨する。

問 ふるさと大使に続け

答 まず皆さんに脱プラの話を



松川 正樹 議員

問 「生まれ育った松岡は、機音が響く繊維の町だった。この半世紀に大きく変わってしまったが、福井の繊維産業は、現在も世界最新の技術を誇っており：」ここから始まるふるさと大使、堅達さんのエッセイは、深刻化する海洋プラスチックごみ問題と、地球温暖化の加速を訴えている。

実は、世界のアップルファクション業界から排出される年間の二酸化炭素の量は、12億トンと石油業界に次いで多い。しかも、マイクロファイバーと呼ばれるプラスチックを海に垂れ流し生態系を破壊し、温暖化の犯人呼ばわりされそうなのだ。だからファクション業界よ立ち上がれ、脱プラスチックに挑戦せよと、御本人上梓の新著でも力説している。なぜ世界は脱プラに積極的なのか、日本はこの動きに乗り遅れていないかにも言及している。福井よ、頑張れなのだ。



松岡出身堅達京子さんの著書

町長 堅達さんのいろいろなお考えは、私たち町民の誇り。ぜひ何らかの形で、町民に環境問題や脱プラの話をして頂ければありがたい。一人一人が意識を持つことが始まり。

問 空き家利活用の移住支援は

答 各課連携協議し総合的に行う



酒井 和美 議員

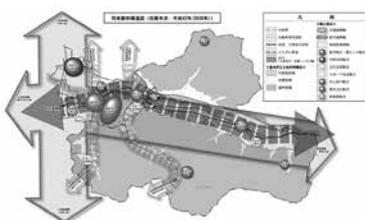
問 今年は今空家等対策計画が策定され、いよいよ空き家利活用により若者を町に呼び込む年。計画の基礎のひとつである都市計画マスタープランの土地利用ゾーンが福井市との隣接地にしかなく、周辺主要道路が以前より渋滞し交通量が分散したこと、町内部の空洞化を招いたのでは。

町長 ストロー効果の心配はある。観光魅力発信とアクセス改善。永平寺インターと東古市駅前を結ぶ。その周辺の利活用併せて考える。

問 学術交流拠点背後には福井県産業支援センターもIT企業もある。「起業しやすい町」として情報発信し「移住者も交通弱者」の視点持つて、公共交通の強化行つては。或いは地域課題を解決する民間交通事業に対する補助を行つては。

総務課長 Maas会議、地域公共交通会議にて諮る。

問 先進地では空き家バンクや創業支援情報充実した移住支援サイト、移住体験施設提



町HPでも閲覧できる都市計画マスタープラン

問 男女共同参画の推進について

答 目標に向かって進めていく



伊藤 博夫 議員

問 男女共同参画を推進するにあたり、これまでの取り組みと今後の課題は。

生涯学習課長 推進委員、男女共同参画ネットワークの方々や講座や研修会、各団体との交流会、そして街頭キャンペーン等の啓発を実施、今後は計画改定時に町民意識調査を行い、家庭の中や地域職場等にも力を入れてい

答 突風で1m先も見えない砂嵐の時がある。R3年にグラウンド改修の予定。

問 成人式少し寂しかったが。

答 実行委員会はよく頑張った。

問 松中の砂ぼこり何とかしないと

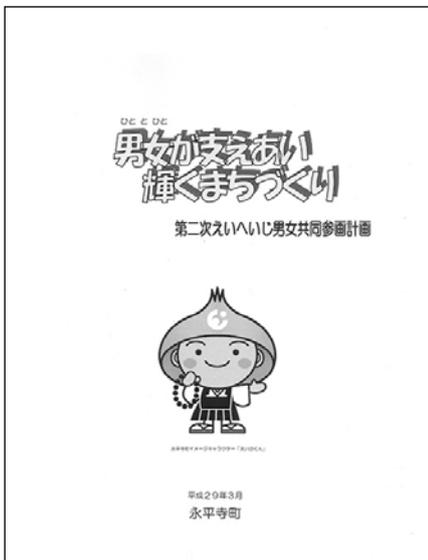
答 突風で1m先も見えない砂嵐の時がある。R3年にグラウンド改修の予定。

【その他の質問】
 問 気候危機は待たなし。
 答 みんな分かってくる。
 問 学校の適正配置は善は急げだったのでは。
 答 将来、どんな教育を望んでいるかを把握することから始める。

育を望んでいるかを把握することから始める。
 問 成人式少し寂しかったが。
 答 実行委員会はよく頑張った。
 問 松中の砂ぼこり何とかしないと



突風で1m先も見えない砂嵐の時がある。R3年にグラウンド改修の予定。



男女共同参画計画冊子

犯、見守り活動は、各地区での防犯・防災講座に積極的に参加して頂き、女性の防災士をさらに拡充し、進めていきたい。

問 国において、2020年までに指導的地位に女性が30%程度になるよう目標を掲げ進

めているが本町の取り組みは。

生涯学習課長 今までの啓発事業は一般向けの研修会などがほとんど。今後はネットワーク加盟団体や町商工会の会議などに合わせた研修会開催をお願いしていく。また、各種審

供、移住支援相談員による窓口、空き家ツアーの開催など取組んでいるが。

総合政策課 課長 総合窓口は総合政策課で行う。1階に案内看板を

設置する。移住ポータルサイトも充実させる考え。

商工観光課長 空き家利活用について七尾市に視察行った。移住して創業するケース

多い。宅建協会と提携し今年より創業支援を行う。

建設課長 笑来で移住体験検討したい。見学ツアーは3年度以降実施したい。

議会などの委員改選にあたっては、女性登用について関係各課に周知を進める。

問 男性の家事や育児の意識改革と、取り組みを求められるが、どのように取り組むのか。

子育て支援課長 女性の社会進出が進む中、幼稚園の入園、放課後児童クラブの設置等、働きやすい環境づくりを一層進めていく。

町長 男女共同参画の取り組みは一つ一つの事業に当っては、女性の目線で三役と確認し進めていく。

問 幼保の統廃合 小中の統廃合の道

答 10年間で計画 現況確認しながら



上田 誠 議員

問 少子高齢化、合併、人口集中と減少、社会構造の変革が地方経済や組織の疲弊と更なる人口減に進む。国の指針3才以上20人程度で、検討委員会でも同じ答申を受け、松岡地区6↓4↓3園に。永平寺地区3↓1園の計画だが。

町長 計画は10年で考える案を示した。急ぐ松岡地区から様子を見進める。

問 文科省は全国で12学級以下の小規模校が半数を示す現状から、統廃合のみでなく、存続を核に地域再生を図る取り組みが、地方創生の観点からも重要と

している。学校は地域社会の存続、小規模校教育の豊かな可能性を示しており、廃校は地域の衰退と住民の夢や展望を摘み取るが。

教育長 諮問は現状分析し、今後の教育の在り方、望ましい環境整備に資する目的で、統廃合を誘導するものではない。

町長 答申を基に方針を一緒に創る取り組みと考えている。

問 人口減、少子高齢から日常生活を守るため、全国的に支え合い共生社会の町づくりが進められている。その基となる人口減少に歯止めをかけ、子ども、若者の定住と、学校や公民館を核としたコミュニティ組織の維持が欠かせないと思うが。

福祉保健課長 現在、高齢者の生活を守る視点から進めているが、家族のあり方、地域の

問 認められない幼児園の統廃合と民営化

答 将来的に子どもに必要な環境を整備



金元 直栄 議員

問 町が示している周辺地域での園の統廃合は、若い人が住み続けたり、移住する根拠を崩すと言うのが全国の教訓だ。

さらに町は、幼児園の民営化も口にしてはいるが、園の統廃合も民営化も、アンケートでは今すぐとは望んでいない。これをやれば子育て支援の町、子育ては町が責任を持ちますは、ほほなくなる。

子育て支援課長 人口減社会の中、変化に対応した子育て支援が重要だ。町は答申に基づいて、将来的に子どもにとって望ましい環境を整備するのが再編の

目的だ。

◆「切磋琢磨」論の出どころ狙い

問 一定規模の人数がないと、子どもは育たない。「切磋琢磨」が必要との切り口は、全国の学校統廃合でも同じ言い回しだ。一方、少人数の方が幼児の発達や学びを肯定的に捉えている研究結果もあるのに、現場の声も「一定人数が必要」と一緒になっていることの方が怖い。

子育て支援課長 答申では、人との関わりの中で、思いやりや協力の精神が育つと表現されていて、競争を促す意味ではない。平等に保育の立場からも、差のある人数ではなく、一定人数が子どもにとっても望ましい。

◆相次ぐ「スーパー撤

問 一貫した教育方針が必要

答 幼小連携は深めている



滝波登喜男 議員

問 教育は人づくり。幼児園や学校のあり方を考えるには、次代を担う永平寺の子ども、0歳児から高校生までの教育方針や、計画がまず必要である。現在あるか。

答 小中学校については学校教育方針がある。幼児園は担当が違いますが、数年前から幼小連携が重要なので深めている。ただ、正式



建設課長 空き家無料相談会

問 人口減少で町にはスーパーや銀行・農協などがなくなり、その上、幼児園や学校がなくなったら、若者は帰ってこない。政治は、地域住民に夢を与え、夢と一緒に実現することだと思ふ。課題を町

答 空き家等を活用することは、人口増の有効な手段である。それには、早い対応と窓口の一本化、民間業者との連携、空き家にならない予防策等が大事である。次年度の対応策は、建設課長

あり方から、ひいては地域をどう守るかに繋がってくるかと考える。

問 統計にも、幼保や学校がなくなると、人口減と衰退が示されている。若者定住、子育て教育の町として県都に近い地の利を生かした方向性があるはず。

町長 統廃合を前提にしていない。一緒に創る取り組みを考えている。

【その他の質問】
問 町立診療所を医療の核として進めるには。
答 学校の地域と、進める体験活動の今後。
問 志比南の放課後児童クラブの移転の今後。

な方針や計画は今はない。

◆住民に夢を与えるまちづくり

問 人口減少で町にはスーパーや銀行・農協などがなくなり、その上、幼児園や学校がなくなったら、若者は帰ってこない。政治は、地域住民に夢を与え、夢と一緒に実現することだと思ふ。課題を町

町長 住民への発信は、町としても、私も色々な所で行っている。今後もしっかりし

問 空き家利活用は人口増の秘策
町長 本町は交通の便や福井市の隣接地等で、住宅の需要が高い。空き家等を活用する

「退」とまちづくり

問 スーパー撤退が相次いでいるが、住民は住みにくくなるばかりだ。町の許認可や、温泉・道の駅・スーパーの出店を認めるなど、

町長 町の施策が撤退の原因を作ってきた。これまでの取り組みをしっかりと総括し、今後に生かすべきだ。

町長 原因は、担い手不足やテナントの撤退、ドラッグストアの出店がある。医大前のスーパーの出店は、町に権限はなく、手続きを踏んでの出店だ。一度、多角的な総括は必要だ。

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



1/27 坂井市内幼稚園視察

2/12 事務事業評価意見書提出

2/25 県町村議会議員
永年表彰(18年以上)

テレビ中継で
ご覧ください

6月定例会 (予定)

生中継

- 6月1日(月) 10時～ [本会議]
- 6月8日(月) 9時～・9日(火) 13時～・10日(水)・11日(木) 9時～ [一般質問・本会議(第1審議)]
- 6月15日(月) 9時～ [本会議(第2審議)]
- 6月17日(水) 10時～ [本会議(第3審議)・採決]
- 6月18日(木) [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。
★事前申し込み不要
★バリアフリー、エレベーター完備

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2020年5月8日(金)～5月20日(水)

時	5月8日(金)	5月9日(土)	5月10日(日)	5月11日(月)	5月12日(火)	5月13日(水)	5月14日(木)	時
10	2月25日 第1回定例会(開会・町長招集あいさつ)	3月2日 一般質問② 酒井 秀和議員 長岡 千恵子議員	3月2日 一般質問④ 奥野 正司議員 松川 正樹議員	3月3日 一般質問② 上田 誠議員 金元 直栄議員	3月4日 本会議 3月補正予算審議	3月4日 本会議 3月補正予算審議、採決 当初予算第1審議	3月5日 本会議 当初予算第1審議	10
11	2時間38分	1時間10分	1時間49分	2時間45分	1時間48分	2時間0分	2時間19分	11
12 5 21								12 5 21
22	3月2日 一般質問① 中村 勤太郎議員 朝井 征一郎議員	3月2日 一般質問③ 齋藤 則男議員 川崎 直文議員	3月3日 一般質問① 酒井 和美議員 伊藤 博夫議員	3月3日 一般質問③ 滝波 登喜男議員	3月4日 本会議 3月補正予算審議、採決 当初予算第1審議	3月5日 本会議 当初予算第1審議	3月5日 本会議 当初予算第1審議	22
23	1時間10分	1時間40分	1時間50分	1時間20分	1時間15分	2時間24分	1時間17分	23
時	5月15日(金)	5月16日(土)	5月17日(日)	5月18日(月)	5月19日(火)	5月20日(水)	時	
10	3月6日 本会議 当初予算第1審議	3月6日 本会議 当初予算第1審議	3月9日 本会議 当初予算第1審議	3月11日 本会議 当初予算第2審議	3月11日 本会議 当初予算第2審議	3月13日 本会議 当初予算第3審議、採決	10	
11	2時間8分	41分	1時間24分	1時間16分	1時間10分	1時間6分	11	
12 5 21							12 5 21	
22	3月6日 本会議 当初予算第1審議	3月9日 本会議 当初予算第1審議	3月11日 本会議 当初予算第2審議	3月11日 本会議 当初予算第2審議	3月12日 本会議 当初予算第2審議		22	
23	1時間47分	1時間54分	1時間24分	1時間24分	1時間8分		23	

★テレビ番組の構成上、番組表はあくまでも予定時間であり、開始時間の遅れが生じることがあります。詳細につきましては、リモコンの番組表でご確認ください。(午前10時～12時頃、午後10時～12時頃)お手数をおかけして、誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

お詫びと訂正

議会だより57号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。大変申し訳ございませんでした。

20P 左段 【湯谷集落センター】議会回答

誤… (ほぼ設置初期費用がでる額。電気代等の維持管理コストは区負担) の補助がある。
正… (ほぼ設置初期費用がでる額。電気代等の維持管理コストは区負担) の補助制度を検討している。

24P 左段 ◆目標は県大会出場

誤… 4年生が4人、3年生が4人
正… 4年生が6人、2年生が4人

24P 右段 ◆随時・見学・体験受付中

誤… 練習は週4回 (水：松岡小・金：永平寺中・土日：上志比中)
正… 練習は週4回 (水：松岡小・金：永平寺中・土日：上志比小)

議会・各委員会の議員出欠状況

令和2年1月14日～令和2年3月30日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	松川 正樹	上田 誠	中村 勘太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	江守 勲
出席回数	34	30	29.5	27	34	27	30.5	26	31	33.5	30	31	27	27
会議回数	35	31	31	27	35	27	31	27	31	35	31	31	27	27
出席率	97%	97%	95%	100%	97%	100%	98%	96%	100%	96%	97%	100%	100%	100%

No.	日付	会議名	○ … 出席 × … 欠席 — … 員外 △ … 遅・早 研 … 研修 傍 … 傍聴 弔 … 弔事													
1	1/14	議会運営委員会	○	○	△	—	○	—	傍	—	—	△	—	—	—	傍
2	1/14	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍	
3	1/15	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	×	—	○	○	○	—	○	
4	1/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
5	1/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	1/20	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	×	○	○	傍	
7	1/27	幼稚園・幼稚園視察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	1/28	幼稚園・幼稚園視察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	1/28	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	2/7	議会運営委員会	×	×	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
11	2/10	総務産業建設常任委員会	○	—	×	—	—	—	○	—	○	○	○	—	○	
12	2/12	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
13	2/17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	2/18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	2/18	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
16	2/19	全員協議会(勉強会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	2/21	全員協議会(幼稚園再編)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	2/25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	2/25	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	3/2	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
21	3/2	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
22	3/2	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	3/3	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	3/4	本会議	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
25	3/5	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	3/6	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	3/9	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	3/9	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	3/10	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	○	—	○	
30	3/10	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
31	3/11	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	3/12	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	3/12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	3/12	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍	
35	3/13	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	3/13	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	3/27	全員協議会(幼稚園)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	3/30	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	○	—	傍	

新型コロナウイルスに

負けない永平寺っ子たち!



◆放課後児童クラブと学校が協力体制

今回の休校対策で各小学校を利用し児童クラブを開設したことは、児童にとっては本来の学びの場へ毎日通う環境ができたため、我慢をしつつも伸び伸びと明るく元気に過ごせているように感じられました。また、ひとつの教室に10人程度で児童を振り分け密着空間にならないよう配慮され、児童クラブ指導員・支援員が不足する場面では学校教員・支援員がサポートするなど、学校と児童クラブが全面的に協力しあい、行政がコロナウイルス対策をしっかりと行っていることを確認。当町が



子育てに手厚い町であることに改めて安心しました。



～町内児童クラブを視察して～

◆児童が伸び伸びと過ごせるように

児童クラブ毎にいつもと違う環境の中でクイズやゲームに「学び」を取り入れるなど、児童が伸び伸びと過ごせる環境づくりを意識し、一日一日を飽きさせないよう創意工夫されていました。

今回の対策では児童にも関係者各位にも相当な負担をお願いしましたが、全ての組織に関わる全ての方のために万全の態勢で前向きに取り組まれている様子に、子を持つ親としても感謝の気持ちでいっぱいになりました。

(酒井秀 記)

※これらの写真は3月16日に撮影されたものです。現在、町内児童クラブでは、新型コロナウイルス感染防止に適切な対応をしています。



編集者のびと

町議になって、卒業式にも出席できるようになり、式では校歌をいつも大声で歌い上げている。歌っているうちに、先に逝った同級生のことをどうしても思い出してしまう。もともと純な子ども達の気持ちに満ちた空間だから、涙することが多い。大人になって悲しみさえも汚れているので、泣いて少しでも心を綺麗にしたいのだ。

令和2年の卒業式は、いつもと違った。どんなひとときだったのだろう。物足りなかったら、未来の成人式で、その分を取り戻してほしい。3月12日、永平寺町内3つの中学校の卒業式が終わった。

(松川 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 奥野正司
副委員長 松川正樹

委員 滝波登喜男・長岡千恵子

川崎直文・酒井和美
酒井秀和

発行責任者

議長 江守 勲